

平成25年度第16回教育研究評議会議事要旨

日 時 平成25年12月19日（木） 9時30分開会
12時50分閉会

場 所 事務局第1、第2会議室

欠席者 星野副学長

○議題等

1 教員選考（採用人事）について

学長から、資料2に基づき、平成26年4月1日付け採用予定の候補者について、本学教員選考規則第18条の規定に基づき、投票による選考を行う旨説明があった。

引き続き、各校選考委員会委員長から、選考結果報告書（回収資料）に基づき、候補者の説明があり、投票の結果、10件全てを承認した。今後、同選考規則第18条第2項の規定に基づき、役員面接により、選考することとした。

なお、関連して、学長から、前回（11月28日開催）の教育研究評議会において選考済みの新学科設置に係る採用人事に関わり、当該キャンパスから、諸準備等の関係で採用の時期を早めてほしい旨の要望が出されており、これに対応すること、また、この件に係る人件費等については、文部科学省との折衝の結果、別途、予算措置される予定であることについて補足説明があった。

2 教員選考（配置換人事）について

学長から、資料3に基づき、平成26年4月1日付けで、大学院教育学研究科（高度教職実践専攻）教授1名を釧路校へ配置換することについて説明があり、これを承認した。

3 特任教員の選考について

学長及び阿部副学長から、資料4及び選考結果報告書（回収資料）に基づき、第8回教育研究評議会（7月25日開催）で人事計画を策定した旭川校のⅢ種特任教員について説明があり、本学特任教員の選考等に関する要項第6条の規定に基づく選考の結果、これを承認した。

4 北海道教育大学教員養成改革の基本方針（案）について

蛇穴理事から、資料5に基づき、12月18日開催の教員養成課程改革部会で議論を経た後、将来計画会議で報告された教員養成改革の基本方針（案）及び本推進のための組織（案）について説明があり、各キャンパスからの本案に対する意見を平成26年1月14日（火）を目処に、取りまとめることとした。

なお、各評議員から、教員養成改革については、教員養成課程3キャンパスに限定せず、小学校教員免許が取得可能となる国際地域学科地域教育専攻（函館校）の新学科とも連携して取り組むべきとの意見があり、検討することとした。

また、学長から、12月18日付けで文部科学省からミッションの再定義が公表されたことに伴い、本学の中期目標・中期計画の変更について議論する必要がある旨の説明があり、年内に臨時の教育研究評議会を開催する予定である旨説明があった。

5 平成28年度以降の教員養成課程における入学者選抜方法の基本方針について

佐川理事から、資料6に基づき、12月18日開催の教員養成課程改革部会で議論を経た後、将来計画会議で報告された平成28年度以降の教員養成課程における入学者選抜方法の基本方針について説明があり、これを承認した。

○報告事項

1 センター員の兼務について

学長から、資料7に基づき、教員養成開発連携センター員及び学校・地域教育研究支援センター員の兼務について、報告があった。

2 センター部門長の命免について

学長から、資料8に基づき、各センターの部門長について命免について、報告があった。

3 平成26年度特別入試及び編入学試験の合格状況について

城後理事から、資料9に基づき、平成26年度特別入試及び編入学試験の合格状況について、報告があった。

4 平成26年度特別入試（函館校、岩見沢校）の志願状況について

城後理事から、資料10に基づき、平成26年度特別入試（函館校、岩見沢校）の志願状況について、報告があった。

○その他

・財務部長から、資料（追加配付）に基づき、平成25年12月12日に閣議決定された平成25年度補正予算（第1号）において、本学に措置される予定の施設整備実施予定事業の概要等について報告があり、学長から、今回の予算措置により、本学が国立大学の中で最も早く校舎の耐震補強が完了する旨の説明があった。

なお、各評議員から、今後の施設整備について、大学校舎のバリアフリー化、附属学校施設の充実等の要望が出された。

・今泉副学長から、釧路校学生がソチ五輪アイスホッケー女子日本代表メンバーに選ばれた旨の報告及び本人に対する支援金の対応についてお礼があった。

以 上